

平成 24 年度 グループホーム『第一大山荘』事業報告

1. 入居者の状況

| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 入居年 | 日中活動場所 |
|---|-----|----|----|--------------|------------------|
| 1 | Aさん | 男 | 63 | 平成 14 年 10 月 | 四季の郷（生活介護） |
| 2 | Bさん | 男 | 56 | 平成 14 年 10 月 | 大山ファーム（就労移行） |
| 3 | Cさん | 男 | 61 | 平成 21 年 10 月 | 大山ファーム（就労継続支援B型） |
| 4 | Dさん | 女 | 46 | 平成 14 年 10 月 | 大山ファーム（就労継続支援B型） |
| 5 | Eさん | 女 | 53 | 平成 22 年 5 月 | 大山ファーム（就労継続支援B型） |

※平成 24 年度は入居者の入退去はなく、男性 3 名、女性 2 名の比率は変わらなかった。

入居者全員の日中活動場所が大山ファーム（就労移行 1 名、就労継続支援B型 4 名）を利用していたが、10 月に 1 名の入居者の日中活動場所を本人の希望もあって大山ファームから四季の郷へ移った。

2. 支援の状況

生活面については個別支援計画に基づき、管理者、世話人（パート職員 1 名）、補職職員（1 名）が日常生活支援にあたった。地域生活を送る上では日常的な買い物などの外出支援、食事管理、通院付添等の医療管理の他、日中活動場所との連絡調整等多岐にわたっているため、バックアップ施設四季の郷職員、日中活動場所大山ファーム職員と合わせて連携、協力による支援を行った。

入居者の健康面では、毎日起床時検温を実施し日々の体調観察に努めた。また、高血圧や糖尿病、甲状腺疾患、精神疾患等の入居者のために、日常的な服薬管理、定期通院支援を継続した。

第一大山荘独自の行事は計画していないが、昴会の行事や大山ファームの行事、地域の行事に積極的に参加した。特に今年度からは地域との交流に努め、祭りへの参加だけでなく地域の草刈、神社の清掃にも参加した。地元大山町の自治会に加入しており、大山町の一員としての認知度も高くなり、協力・支援も大きくなっている。

今年度も 2 名の入居者が各種障害者スポーツ大会に参加した。1 名の入居者は岐阜県で開催された「第 11 回全国障害者スポーツ大会 “ぎふ清流大会”」ボウリング競技の部で 5 年連続浜松市の選手代表に選出され出場し、見事金メダルを獲得した。